

尊光寺報

第127号

徳島県阿波市市場
町大野島字天神41
尊光寺

尊光寺報恩講法要12月14・15日勤修

尊光寺 宗祖親鸞聖人

御正忌報恩講法要

浄土真宗(西国)の
おんがらふ御講法要。
ごなだ様で、やういふ手を合わせ、
仏さまの話をきかされてはまじへて。

法要 日程

◆12月14日(土)◆
昼1時 報恩講法要 法話
夕5時 お斎(食事)
夜6時 大速夜法要 御伝鈔拝読 法話

◆12月15日(日)◆
朝10時 門徒総永代経ならびに戦没者追悼法要 法話
随時 お斎(食事)
昼1時 報恩講ご満座法要
御伝鈔拝読解説 法話
昼3時頃 奉賛コンサート「Jimi's Guitars」さん
(本年の法話講師 本願寺派布教使 龍田智 師)

2019尊光寺音御堂

御正忌報恩講 奉賛コンサート

Jimi's Guitars

ジミスギタース



日時:12/15(日)15:00~
会場:尊光寺本堂

入場 無料

【Jimi's Guitars : ジミスギタース】
Vo 前田ルリ
G&コーラス 加藤明夫
G&コーラス 戎紫穂

命と平和の大切さを表現するアコースティックバンド。
2008年結成。アコースティックギターの優しい音色に
ジャジーな歌声をのせて、伝え残したい曲をカバーして
お届けします。徳島を中心に関西、四国、岡山のライブハ
ウス、イベント等で活動中。

尊光寺 阿波市市場町大野島字天神41 0883-36-3026

今年より報恩講法要の日程が12月第3日曜とその
前日土曜日と変更になっております。ご注意ください。
お一人でも多くの皆さまのお参りを心よりお待ちしております。
ております。

正信偈講座②

(赤い経本一〇巻)

凡聖逆謗齊回入 如衆水入海一味

【訓読】凡聖逆謗齊しく回入すれば、衆水海に入り
て一味なるがごとし。

【現代語訳】凡夫も聖者も、五逆のものも謗法のものも、み
な阿弥陀さまの本願に出遇うならば、どの川の水
も海へ流れて一味となるように、ひとしくともに救
われる。

今回は、阿弥陀如来の「必ず救う、我にまかせよ」との願い
は、凡夫であろうと聖者であろうと、平等に注がれ、同じ浄土
へと導いてくださるという部分です。大まかな意味は右の現代
語訳で理解できるだろうと思います。

まず、凡聖とあるのは、凡夫と聖者です。凡夫とは、一般的
には平凡な人という意味でも使われますが、親鸞聖人は、「凡
夫というは、煩惱が身に満ちあふれ、欲も多く、いかり、はらだ
ち、そねみ、ねたむ心が途切れる暇がなく、命が終わるその時
まで止まることがないものである」と示し、それは「我が身」で
あるとも述べています。前号の寺報で紹介をしたように、様々
な煩惱に振り回されるこの私たちの姿に他ならないようです。
一方の聖者とは、仏道修行が進み、その煩惱を多少なりとも
抑えることができた方々を言います。

次に逆謗とは、五逆という罪を犯したもののや、謗法といい仏
の教えを謗る人びとのことを言います。五逆とは①父を殺す、
②母を殺す、③修行者を殺す、④仏の身体を傷つける、⑤教
団の和合を乱すという罪で、仏教では謗法と並んで救われが
たい大罪として説かれています。

世間的に考えるならば、成績の良い者と成績の悪い者は当
然テストの結果も違ってきます。仏道も同じように、聖者と凡
夫や五逆・謗法の者とは結果は異なると考えるのが当然の
ようです。修行のできる人とできない人が同じ浄土に生まれる
ことがあつてよいのだろうか。しかし、阿弥陀如来のお慈悲
は、成績の良い者にも悪い者にも平等に注がれ、ともに「我にま
かせよ」と喚んでくださっています。

阿弥陀如来はよく親に例えられました。子どもが何人
かいれば、できの良い子も悪い子もいます。はたしてできの良い
子だけを可愛がるでしょうか。できの悪い子にはより心をか
け、心配いらないよと寄り添おうとするのではないでしょう。か
「心配いらないからまかせておくれ」という親心が先にあり、そ
の心が子どもに伝わる時、子どもの中に「まかせせる心」がわき
上がってくるのでしょうか。

この「おまかせします」という心、すなわち信心が種となつて
浄土往生という花を咲かせます。人はそれぞれ異なる人生を
歩み命を終えていきます。それぞれ別の種を育て、様々に花を
咲かせてきたことでしょうか。しかし、浄土往生については種は同
じなのです。修行のできるものも、できないものも、みな同じよ
うに阿弥陀さまの「我にまかせよ」のお心が元にあるのです。同
じ種をいただき、同じ浄土へ生まれ行く。これが「如衆水入海
一味」という意味でありましょう。先立つた方々、後から生ま

法要・行事のご案内

◎ 宗祖親鸞聖人 報恩講法要

12月14日 土曜日

午後1時 日中法要・法話
午後5時 お斎(食事)
午後6時 大速夜法要・御伝鈔拝読・法話

12月15日 日曜日

午前10時 総永代経法要・法話
お昼 お斎(食事)
午後1時 報恩講御満座・稚児参詣御伝鈔拝読・法話
午後3時 奉賛「コンサート」[Jimi's Guitars]
〈法話講師 本願寺派布教使 龍田智 師〉

宗祖親鸞聖人の遺徳を偲び、念仏に出逢えたことを悦ば
せて頂く、一年で一番大切な法要です。お誘い合わせの上、
参拝下さい。なお15日は参拝の皆様にお斎(昼食)を準備し
ております。

※本年度の執行当番は知恵島組(知恵島・三軒屋)です。

よろしくお願い致します。

◎ 除夜の鐘

12月31日 午後11時40分頃より

鐘の音とお念仏で、心新たに年を迎えましょう。
どなた様も鐘をつくことができます。

◎ 春の彼岸会永代経法要

13月20・21日 両日とも午後1時より法要

21日は仏教婦人会総会を兼ねます。会食は12時前より。
お手伝いできます方は9時頃よりお願い致します。

◎ 令和2(2020)年 本山参拝旅行のご案内

次回の本山・大谷本願への団体参拝は左の予定です。

【日帰組】 7月6日、大谷本願・西本願寺・二条城

【二泊組】 7月6、7日、大谷本願・西本願寺・長良川温泉

本山への分骨納骨、法名授与などもお受け致します。

詳しくは次号の寺報(3月)にてお知らせ致します。

どうぞ「予定」ください。

れる方々も、ともに同じ浄土へ生まれ往くことができるのは、同じ阿弥陀さまのお慈悲の導きによるからなのであります。

仏教遺跡の旅

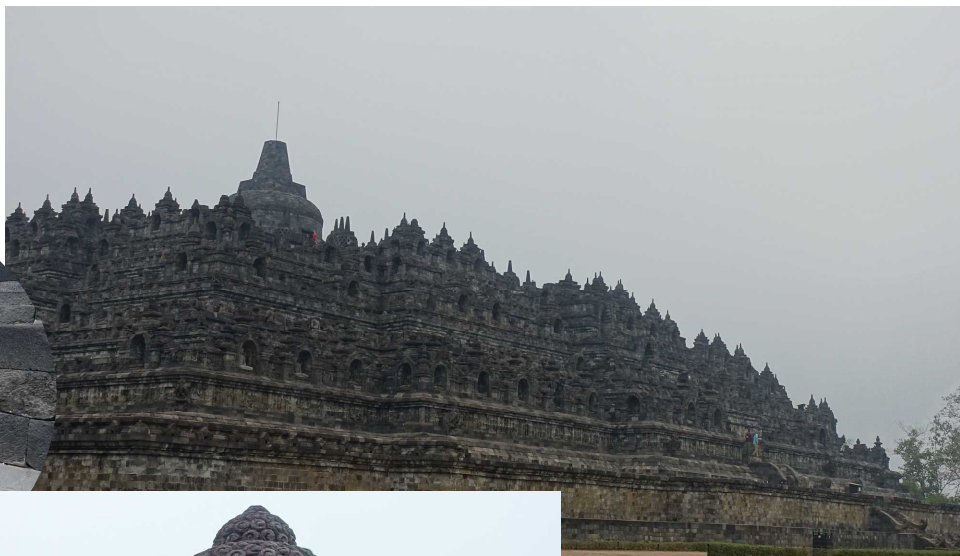
「インドネシア」ボロブドゥールを訪ねて

関西空港を朝出発し、バリ島経由でジャワ島のジョグジャカルタ空港に着いたのは日付が変わる頃であった。ホテルにチェックインを済ませるものの、ボロブドゥール遺跡への出発は早朝四時。綺麗なホテルを予約したのであったが、せっかくの部屋を楽しむ時間は無かった。

ホテルからボロブドゥール遺跡へは車で三十分程度であっただろうか。外はまだ真つ暗だ。このような早い時間に出発したのは日の出の時間に間に合うようにである。朝日に赤く染まるボロブドゥール遺跡が絶景なのだと、多くのガイドブックには謳ってあった。懐中電灯を片手に、ボロブドゥール遺跡の公園を歩いて行く。夜明けが近づく暗闇にうつすらと大きな影が見えてきた。ボロブドゥール遺跡との対面だ。大きさに息を呑む。遺跡は高さ34.5メートル、最下部の基壇は一辺133メートルの正方形で、その上に何層もの正方形と円が重なるようなデザインをつくりで、それぞれに仏塔や彫刻が備えられている。



遺跡には既に多くの観光客が腰を着け、日の出の時間を待っていた。だんだんと明るくなるにつれ遺跡の細かな部分や周囲の状況が分かるようになる。遺跡の入り口部分には、日本で言う所の狛犬のような、



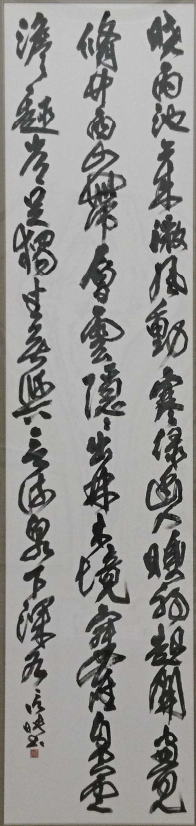
獅子像が配置されているが、ずんぐりとしたフォルムで愛らしい表情をしている。他にもカバとゾウを合せたような不思議な動物の像も遺跡を守っている。

遺跡を上段へと登っていくと、景色が開け視界は一変する。ハンドベルを伏せたような形の仏塔（ストウーパ）が円を描くように配置されている。一つ一つの仏塔の中には仏像が安置され、仏が堂の中で瞑想しているようにも感じられる。

ボロブドゥール遺跡は火山の噴火などによって火山灰に埋もれ、発見された時には多くの仏塔は崩れたり傾いていたようだ。現在は復元がほぼ完了しているが、一つの仏塔はあえて完全な修復を加えずに、中の仏像が見えるようになされている。凛としたその表情に私は合掌礼拝を繰り返した。

阿弥陀如来が私を救おうと、「必ず救うまかせよ」と喚び続けてくださるように、永き永き時代を超えて、この私を「ようこそようこそよく来たね」と迎えてくれていくような、そんな温かな表情でもあった。

【短信】 副住職はこの度、日展（改組新第6回）第五科書にて初入選を果たしました。



副住職担当、徳島新聞カルチャー教室の「案内」

各講座、受講生募集中

■ 仏教講座『御文章（ごぶんしやう）』 ■

「聖人一流の」。浄土真宗中興の祖、蓮如上人が門信徒へ宛てた手紙が『御文章』です。宗祖、親鸞聖人の念仏の教えをやさしく説かれた『御文章』を、原文に沿って読み解き、仏教とは何か、念仏とは何か、一緒に学んでまいりましょう。

● 毎月第3金曜日 10時～11時半 月額2500円（税別）

【教室・申込先】 徳島新聞カルチャーセンター 徳島本校

徳島市川内町平石若宮92-4

TEL 088-665-8500

■ 親鸞聖人と『歎異抄（たんにしやう）』 ■

「悪人こそが救われる!」『歎異抄』には昔から多くの人々の心をひきつけてやまない言葉がつまっています。人間らしい矛盾を抱えながら生き抜かれた親鸞聖人の言葉を丁寧に読み解きあじわってまいりましょう。

● 毎月第2月曜日 13時半～15時 月額2500円（税別）

【教室・申込先】 教室は、阿波おどり会館内

申込は、徳島新聞カルチャーセンターさごう校

徳島市寺島本町西1-5さごう徳島店9階

TEL 088-611-3355

令和2年 年忌表

令和2年の法事と亡くなった年

- | | |
|-------|-----------------|
| 1周忌 | 平成31・令和元(2019)年 |
| 3回忌 | 平成30(2018)年 |
| 7回忌 | 平成26(2014)年 |
| 13回忌 | 平成20(2008)年 |
| 17回忌 | 平成16(2004)年 |
| 25回忌 | 平成 8(1996)年 |
| 33回忌 | 昭和63(1988)年 |
| 50回忌 | 昭和46(1971)年 |
| 61回忌 | 昭和35(1960)年 |
| 100回忌 | 大正10(1921)年 |
| 150回忌 | 明治 4(1871)年 |
| 200回忌 | 文政 4(1821)年 |
| 250回忌 | 明和 8(1771)年 |
| 300回忌 | 享保 6(1721)年 |

過去帳やお位牌をご覧ください。